

令和6年度事業報告

観光を取り巻く状況は、令和6年の年間訪日外客数（速報値）が全国で3,600万人を超え、過去最多となりました。本県においても、令和6年の外国人の延べ宿泊者数が24万6,180人（速報値）となり、過去最多を更新しました。

一方で、本県では7月に最上地域、庄内地域を中心に近年にない甚大な豪雨災害が発生し、観光・物産事業者には施設設備、経営等の面で大きな被害をもたらしました。この状況を受け当協会では、会員の皆様への実態調査を実施し実情を県当局に強く訴え、所要の対策を要望したところです。

観光の現状について延べ宿泊者数で見た場合、令和6年はコロナ禍前の令和元年に比較して、全国では全体で9.1%増、うち外国人が41.5%増と高い伸びを示しておりますが、本県では、全体で12.6%減、うち外国人は5.2%増にとどまっており、更なる拡大が期待されるところです。

現状、外国人旅行客に関しては、大都市部や、東京と京都等をつなぐ「ゴールデンルート」に集中しているところであり、地方への誘導が国をあげての喫緊の課題となっております。こうした状況を打破するため、関係の皆様のお力により、令和6年9月に観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地域づくり」のモデル観光地に「山形エリア」として認定を受けることができたところであり、当協会においても県全域をカバーする地域連携DMOとして、この事業に積極的に参画していく必要があります。

また、本県の宿泊施設全体では、延べ宿泊者数の約95%を日本人の旅行客が占めていることから、これまで旅行の機会を多く持てなかった方々からもより旅行を楽しめる観光地として選ばれるように、誰もが旅行を楽しめる「アクセシブルツーリズム」の推進をはじめ、国内観光客の拡大に向けた取組みも同時に進めていく必要があります。

令和6年度においては、このような現状等を踏まえ、当協会では本県の観光・物産事業の更なる振興を図るため、観光振興部門においては、地域連携DMOとして、県内関係諸団体と連携し「公益社団法人山形県観光物産協会登録DMO形成・確立計画評価検証委員会」を開催し、今後の事業展開や観光地域づくりについて議論しました。また、観光事業者が行うDX推進、高付加価値化に向けた取組みに係る経費の支援や、アドベンチャートラベルを更に促進・発展させるため置賜地区のDMO・DMCと連携した事業を行いました。さらに、障がい者や高齢者の方々が自由に県内各地を観光し、非日常を楽しんでもらうためのサポート体制の構築に向け、観光介助ボランティア実証事業を実施しました。

国内誘致事業については、当協会が事務局を担う山形県教育旅行誘致協議会が中心となり、教育旅行の誘致に向け学習プログラムのブラッシュアップや受入環境の整備、各地での誘致活動や商談会等への参加、教育関係者の招聘事業を実施しました。

外客誘致事業・インバウンド事業に関しては、台湾からの教育旅行誘致を図るため、台湾訪日教育旅行個別相談会に参加するとともに、山形と台湾の学生交流イベント「グローバルサミット“Be a Bridge”」を実施しました。韓国については、現地の情報発信員を通じて情報の収集と本県の観光及び物産の情報を発信するとともに、当協会が事務局を担う山形県スキー場誘客推進協議会において、韓国でスキー場関連商品を扱う旅行会社等へのセールスを実施しました。

物産振興部門においては、物産振興事業の柱である「山形県の観光と物産展」について新規2会場を含む7会場で開催し、昨年度を上回る売上実績を確保するとともに、「東北6県の観光と物産展」等については実施数の減があったものの、昨年度を上回る売上実績を確保することができました。

ネット販売事業については、既存の協会独自サイト「とっておきの山形」及び「とっておきの山形Yahoo!ショッピング店」に加え、県受託事業の山形県アンテナショップのECサイト「おいしい山形プラザWEB」を運営しています。これらの認知度向上と売上拡大が図られるよう、送料無料キャンペーンなど各種プロモーション企画を展開しました。

また、外航クルーズ船の酒田港寄港の際の歓迎行事などに合わせ、本県の食や工芸品等の情報発信を行うとともに、県内の大型観光立寄施設によるスタンプラリーや各種フェア等の共同事業による効果が、県内各地の観光地に波及するよう支援を行いました。

これらの取組みに加え、物産振興部門に係る今後の事業展開について、現状等の基礎的な調査・分析、専門家の助言等をもとに、中期的な戦略を取りまとめました。

I 観光振興部門（公1：観光振興事業）

1 DMO推進に関する事業

観光地域づくりの舵取り役である地域連携DMOとして、「公益社団法人山形県観光物産協会登録DMO形成・確立計画評価検証委員会」を開催し、令和6年度事業の中間報告や今後の事業展開、観光地域づくりについて議論した。

また、地域連携DMOとしての機能強化を図るため、東北運輸局による伴走支援事業により、東北管内におけるモデルDMOとして、データ分析や戦略策定、組織マネジメント等の諸課題の改善に向けたサポートを受けながら、今後に向けた中長期的な戦略策定及び評価指標の設定に活かす取り組みを実施した。

加えて、観光事業者のDX推進等に向けた専門アドバイザーの派遣による伴走の支援と観光事業者が行うDXの推進や高付加価値化に向けた取組みに係る経費の支援を行うとともに、本県の地域特性を活かしたアドベンチャートラベルをさらに促進・発展させるため、置賜地区のDMO・DMCと連携し、有識者の参加のもと県内のスルーガイドや地域ガイド等との連携や体制整備等について磨き上げを行った。

(1) 会議の開催等

ア 形成・確立計画評価検証委員会会議

期 日：令和6年12月17日（金）

会 場：山形市観光案内センター会議室

内 容：令和6年度事業の中間報告、KPI報告 など

イ 東北運輸局による伴走支援事業に係る各種会議等

- ・キックオフミーティング（令和6年9月11日）

伴走支援計画、事業内容の整理、現状の把握や認識のすり合わせ

- ・検討会議等

全県DMO業務領域及び役割の整理、課題の整理並びに3か年計画案の作成

- ・先進地域オンラインヒアリング（北海道観光機構、長野観光機構）

及び視察（広島県観光連盟）

(2) 研修事業等

○県内学校への取組み支援・協力

県立山形東高等学校及び県立山形西高等学校が行う「探究活動」の取組みについて、連携協力機関・研究助言者として地域振興分野の生徒発表に対し、アドバイス等の支援を行った。

- ・県立山形東高等学校

期 日：令和6年 7月18日（木）

10月15日（火）パネルディスカッション

12月12日（木）

- ・県立山形西高等学校

期 日：令和6年11月 7日（木）

(3) 観光誘客対策事業の実施

① 観光施設経営強化支援事業

ア 観光業専門アドバイザー派遣事業

観光事業者のDX推進や高付加価値化、経営改善等を支援するため、事業計画の作成や設備等の導入、運用について観光業に精通したアドバイザーの派遣等による伴走支援を行った。

派遣実績： 12 件

イ 観光施設経営強化支援事業助成金

観光事業者のDX推進や高付加価値化に向けた取組みに要する経費への助成を行った。

助成件数： 52 件

助成額：55,412,000 円

② アドベンチャートラベル事業

令和4年度、令和5年度に継続して実施した観光庁事業「広域周遊観光促進事業」のアドベンチャートラベル長期滞在型コンテンツ造成事業において得られた知見を活用し、本県でのアドベンチャートラベルをさらに促進・発展させるため、置賜地区のDMO・DMCと連携し、有識者とともにガイド連携や体制整備等についての磨き上げを行った。置賜地区のDMO・DMC、関係事業者とスルーガイドとをつなぎ相互理解を深めることで、インバウンド向けの商品販売やコンテンツの磨き上げの具体的な手法について議論を深め、課題の共有や今後についての意識の醸成を図ることができた。

ア 置賜地区DMO等ヒアリング

期 日：令和6年6月12日（水）、7月2日（火）

内 容：域内のアドベンチャートラベル事業推進体制等について、現状と課題の聞き取りを実施

イ 事業打合せ・意見交換

期 日：令和6年7月19日（金）

内 容：事業実施者と有識者との打ち合わせ及び意見交換

ウ コンテンツ視察

期 日：令和6年9月3日（火）、4日（水）

内 容：米織等の米沢文化体験（米沢市）及びアルカディア郷山紀行（長井市、小国町）

③ 観光介助ボランティア実証事業

障がい者や高齢者の方々が自由に県内各地を観光し、非日常を楽しんでもらうためのサポート体制を構築するため、観光介助ボランティアの創設を目指し、実証事業を行った。

モデル地域：山形市

ア 福祉研修会

期 日：令和6年7月1日（月）

目 的：障がい者や高齢者への接し方と基本的な介助方法を理解する。

内 容：心のバリアフリーについて学ぶとともに、車いすの基本的な介助方法について学習した

イ 観光研修会

期 日：令和6年8月2日（金）

目 的：県内及び山形市内の基本的な観光知識を学ぶ。

内 容：県内及び山形市内の主要観光地の観光知識と案内方法について学習した。

ウ 実地研修会

期 日：令和6年10月11日（金）

目 的：観光地での介助方法を具体的に学ぶとともに、基本的な観光案内方法を学ぶ。

内 容：山形市山寺立石寺において、観光案内や車いすの介助方法について学習した。

エ モニターツアー

期 日：令和6年12月12日（木）

目 的：障がい者を招請し、観光施設等での案内と介助方法を学ぶ。

内 容：障がい者モニターを招き、観光介助ボランティアが山形市内を案内し随所で介助を行った。

④ 観光危機管理推進事業

近年多発する大規模災害に際し、県内を訪れる旅行者等への情報提供や避難誘導を迅速に行う必要があるため、観光危機管理の内容を周知するセミナーを開催した。

期 日：令和7年1月31日（金）

講 師：観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏

参加者：22名（うちオンライン参加12名）

⑤ 医療ツーリズム推進事業

山形大学医学部の重粒子線がん治療装置によるがん治療に関し、多くの患者及び家族の来県が見込まれることから、本県の豊かな温泉や食をPRするとともに、重粒子線がん治療を受けた本人及び付添いの家族に対し、県内の宿泊施設で利用できる5,000円の宿泊助成を行うとともにアンケートの収集を行った。

実績：6名、30,000円

2 誘客推進事業

(1) 国内誘致事業

① 教育旅行誘致事業

学習指導要領に基づく「生きる力」を育むことができる学習プログラムのブラッシュアップや受入環境の整備を行うとともに、教育旅行の現状を理解するための会員研修会を実施した。

また、本県の受入環境と近年の教育旅行の傾向を分析し、ターゲットを絞ってPR活動を行うとともに、本県に教育旅行で訪れた学校に対し助成を行った。

ア 教育旅行誘致活動

a 東北エリア教育機関等

訪問先：宮城県仙台市教育機関 31箇所

b 北海道エリア教育機関等

訪問先：函館市内大手旅行会社等 8箇所

c 首都圏エリア旅行会社等

訪問先：東京都、埼玉県の手旅行会社等 11箇所

d 関西エリア旅行会社

訪問先：大阪府、兵庫県の大手旅行会社 4箇所

イ 商談会等への参加

東北観光推進機構主催の「東北教育旅行セミナー」において、本県教育旅行誘致プレゼンテーションを実施した。

対象：学校関係者及び旅行会社の教育旅行担当者

期日：令和6年 7月 9日（火）札幌会場

7月18日（水）東京会場

8月20日（火）大阪会場

10月2日（水）名古屋会場

ウ 教育旅行誘致及び受入態勢整備への支援

県内各地域での誘致及び受入整備活動の活性化を図るため、県内4ブロックの広域観光協議会等に対し、助成を行った。

助成件数：4件

エ 教育旅行プログラムのブラッシュアップ及びPR素材の作成

これまで提供してきた学習プログラムに関して「地域ならではの」価値を体感できるように、学習プログラムのブラッシュアップを行うとともに、PR素材を作成した。

プログラムブラッシュ及びPR動画作成プログラム内容：

- ・「フルーツ王国やまがたのサクランボから学ぶSDGs学習」
～果樹園の挑戦から考える自らの第一歩～
- ・「米沢で学ぶ平和な暮らしのための政治」
～上杉流 平和実践塾！～
- ・「スキー体験と共に、蔵王の「樹氷」ができるメカニズムと環境問題を学ぶ」
～樹氷が語る地球の今～
- ・「鳥海山で環境保全・水と暮らしの関わりを学ぶ」
～大自然の教室で学ぶ！鳥海山湧水体験～

オ 教育旅行誘致のための会員研修会の開催

教育旅行の更なる誘致を図るため、教育旅行の現状や教育現場において求めている内容、誘致のポイントについて学習する研修会を開催した。

対 象：協会会員、学習プログラム提供事業者等

期 日：令和6年12月6日（金）

講 師：南相馬市商工観光部 観光政策担当 参事（（株）JTB 出向）
野出 恭伸 氏

開催場所：村山総合支庁講堂

参 加 者：28名

カ 東北観光推進機構主催の関東地区教職員を対象とした招請事業の開催

被招請者：関東地区の高校及び中学校教員等 10名

期 日：令和6年8月27日（火）

会 場：ショウナイホテル スイデンテラス（鶴岡市）

キ 教育旅行実施に伴う助成事業

山形県への教育旅行の継続と定着化を図るため、教育旅行を行う事業者等に対し助成を行った。

延宿泊数：8,588名（前年7,002名、前年対比：122.7%）

ク 情報発信事業

- a 日本修学旅行協会発行「月刊教育旅行 1 月号」の「探求学習に最適な博物館・美術館のスクールプログラム」への広告掲載を行った。
- b 宮城県内のフリーペーパー「河北ウィークリー」での本県の教育旅行プログラムや活動内容の紹介に関し、情報提供等の協力を行った。
- c HP「探究するなら山形県」において、新たな学習プログラム（さくらんぼ、上杉鷹山、市場の競り）の掲載と各種観光コンテンツの情報掲載を行った。

② アンテナショップでの誘客宣伝

東京都中央区銀座の本県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」で観光案内、観光情報提供業務を行い、首都圏からの誘客に努めた。

観光案内相談件数： 5, 431 件（前年対比：99.4%）

③ 山形ファンクラブの管理運営

山形ファンクラブ会員：33, 571 人（令和7年3月31日現在）

（前年対比：103.2%）

ア 山形ファンクラブ会員限定イベント

○山形ファンクラブ会員限定ディナーin レストランヤマガタサンダンドロ

山形牛や県産農産物を使ったフルコースメニューを提供するとともに、山形県に関するクイズ大会や県産品が当たる抽選会を実施した。

期 日：令和7年2月25日（火）

参 加 者：23名

イ 山形ファンクラブ新規入会キャンペーン

山形ファンクラブの更なる拡大を図るため、新規入会者に対し初回ポイント50ptを進呈するとともに、県産品やおいしい山形プラザで使えるお買い物券等が当たる抽選会を実施した。

期 日：令和7年2月26日（水）

入 会 者：33名

ウ メールマガジンの発行による情報提供 年19回発行（臨時号含）

④ 地域資源活用交流促進事業

戦国武将をモチーフに、本県の歴史・文化・物産等を情報発信し観光誘客を図る「やまがた愛の武将隊」の活動を支援した。

当協会と「やまがた愛の武将隊」を運営する㈱オニキスと共に造成した教育旅行プログラムを活用し、令和6年11月、米沢市内の中学生が演舞を体験するとともに映像化するモニター事業を行い、7年度以降の教育旅行の受入に向けた体制を整備した。

(2) 外客誘致事業・インバウンド事業

① 台湾訪日教育旅行個別相談会への参加

日本政府観光局主催の当該相談会に当協会で山形県ブースを設置し、台湾の学校関係者に対して、本県の教育旅行素材等をPRした。

期 日：令和6年6月17日（月）台北会場

令和6年6月18日（火）高雄会場

参加者：台湾側 251名（学校関係者等）

※台北会場：127名、高雄会場：124名

日本側 38団体（自治体、観光協会等）

② 学生交流イベント「グローバルサミット“Be a Bridge”」の開催

台湾からの教育旅行誘致を図るため、山形と台湾の高校生の交流促進を図るイベントを米沢市において開催した。

内 容：リアルとオンラインのハイブリッド形式にて、山形の高校生27名、台湾の高校生21名（オンライン10名含む）が、SDGsをテーマに英語で議論する交流イベントを開催した。参加した台湾の高校生は、山形の高校の案内のもと本県の重要な観光素材であり、環境問題学習のテーマにもなる「蔵王の樹氷」を見学したほか、米沢市内の学生宅へホームステイを行い、交流を深めた。

期 日：令和7年1月23日（木）～24日（金）

場 所：米沢市 九里学園高等学校

③ 日台教育旅行関係者意見交換会への参加

日本政府観光局主催の同意見交換会にて台湾の学校関係者と訪日教育旅行について意見交換を行うとともに、本県の教育旅行素材等をPRした。

期 日：令和6年10月22日（火）

参 加：台湾側 76名（学校関係者等）

日本側 74名（自治体、観光協会等）

場 所：ヒルトン東京ベイ

④ 台湾教育関係者招請事業への協力（山形県、宮城県、福島県３県連携事業）

台湾の教育旅行関係者６名を山形県、宮城県、福島県に招請し、学校交流をはじめとする教育旅行受入プログラム等の視察及び体験を通じ、教育旅行の受入地としての魅力発信を、山形県とともに行った。

期 日：令和６年１０月２２日（火）～２６日（土）

視察先：米沢市（上杉神社散策及び映像作成体験、学校視察：九里学園高等学校）、山形市（山形市内街歩き体験）

⑤ 年間を通して、台湾には教育旅行誘致に係る現地コーディネーターを、韓国には情報発信員を配置し現地情報の収集に努めるとともに、本県の観光と物産の情報を発信した。

（３）山形県スキー場誘客推進協議会事業

山形県スキー場誘客推進協議会として、韓国市場でスキー場関連商品を扱う旅行会社等へのセールスを支援するとともに、当協議会の会員である県内８箇所のスキー場への誘客を目的とした首都圏スキーフェアを実施した。

会員：蔵王温泉、ライザ、天童高原、月山、赤倉温泉、天元台、米沢、湯殿山の索道１１団体、関係７市町及び４観光団体 計２２会員

① 首都圏スキーフェア

首都圏からのスキーヤー誘客を図るため、都内２か所でスキーフェアを開催した。

内容：会員８スキー場のＰＲを行い、会場で２，０００円以上お買い上げした方を対象に抽選会を実施し、リフト共通利用券（２，０００円割引）をプレゼントした。

ア 新宿駅西口広場（「山形県の観光と物産展」と同時開催）

実施日：令和６年１２月８日（日）～９日（月）

当選者： ２６名

イ 「おいしい山形プラザ」イベントコーナー（山形県アンテナショップ）

実施日：令和７年１月１７日（金）～１８日（土）

当選者：１０１名

② テレビ媒体を活用したＰＲ事業

山形放送「ピヨ卵」の中で、令和７年１月１０日から毎週、会員スキー場の情報発信を行った。

(4) 山形県観光ボランティアガイド連絡協議会事業

県内4地域(村山・最上・置賜・庄内)の協議会と44団体が加盟する全県組織である「山形県観光ボランティアガイド連絡協議会」の事務局を担い、総会及び研修会を実施した。

① 役員会 令和6年5月30日(木) 山形市観光案内センター会議室

② 総会 令和6年7月12日(金) 村山総合支庁会議室

令和5年度事業報告及び決算、令和6年度事業計画及び予算

③ 研修会 令和6年9月26日(火)

鶴岡市において、鶴岡市観光ガイド協議会による案内のもと、荘内神社を拠点に致道博物館や藩校致道館等の主要観光スポットで研修を実施した。

3 観光人材の育成と組織強化等

(1) 観光人材養成事業

県内観光関係従事者の資質向上を図る人材養成団体や郷土文化を保存継承する団体を支援した。

- 山形観光アカデミー
- 山形舞子
- 酒田舞娘

(2) 山形県観光物産事業功労者の表彰

県内広域観光団体の推薦により、本県の観光物産振興に功績のあった2個人・1団体を、当協会第79回通常総会(令和6年6月10日(月))において表彰した。

- 伊藤 彰 (天童市)
- 田中 健三 (長井市)
- 鮭川歌舞伎保存会 (鮭川村)

(3) 山形県奥の細道観光資源保存会事業

本県を代表する観光ルートとして定着している「奥の細道」を更にPRし誘客を図るため、「JR松尾芭蕉山寺おもてなしイベント(主催:JR東日本山形統括センター)」に協賛し誘客宣伝活動を展開するとともに、保護対策事業として標柱や看板の修繕補修、環境美化事業を支援した。

○保護対策事業

- ・山刀伐峠環境美化整備 (尾花沢市)
- ・山形、宮城県境歴史の道説明看板修繕 (最上町)
- ・本合海地区環境美化整備 (新庄市)

(4) やまがた女将会事業

県内温泉地の旅館女将で組織する「やまがた女将会」の事務局を担い、県や観光団体等と連携し、本県の観光PRを実施した。また、会員相互の研鑽を図るための研修会の開催を支援した。

① 役員会 令和6年5月28日(火)

令和7年1月30日(木)

② 総会 令和6年7月11日(木)

- ・令和5年度事業報告及び決算、令和6年度事業計画及び予算について審議

- ・研修会「特別講演」

演題：「全員参加とチームワーク」

講師：やまがたアルカディア観光局

副理事長(兼)専務理事 鷺見 孝 氏

③ 各種会議・団体行事等への協力及び公益事業等の実施

おいしい山形推進機構総会、ふるさと納税事業、山形県人会東京連合会総会・首都圏キャラバン ほか

(5) 他団体との共同事業

日本観光振興協会が全国の観光振興を目的に行う観光人材の育成、受入態勢整備などの全国観光振興事業やブロック別広域観光振興事業等に対し、共同事業負担金を拠出した。

4 情報提供事業

(1) ホームページ「やまがたへの旅」情報発信事業

山形県の公式観光サイトとして常に新しい情報を提供するとともに、旅行ニーズ等に対応した特集記事の掲載及びトピックス情報の発信を行った。

ページビュー件数：7,992,649回(前年対比86.4%)

(2) 観光データ提供事業

県内各地からの旬の情報を収集し、本部、支部の各情報センターにおいて、県内の観光情報等の提供により観光誘客に努めた。

5 やまがた観光情報センター管理運営事業（県指定管理事業）

本県を訪れる観光客や来県を計画するお客様に対し、的確な現地情報を提供するため、「やまがた観光情報センター」の管理運営を受託し、来館者や電話等による県内観光案内及び県産品等紹介のほか、メールマガジン（毎月１回）やニュースレター（毎月１回）等による情報発信、シーズンに合わせた環境演出やパネル展の開催、物産展「ハッピーフライデー」（毎月１回）を開催した。また、県産酒・県産ワインの試飲コーナーを新設・リニューアルオープンし、県産日本酒及び県産ワインの魅力を国内外に発信した。こうした取組みにより、来館者数は昨年の約２倍に大きく増加した。

- ・ 来館者数 : 233,566人（前年対比 198.0%）
- ・ 案内件数（カウンター） : 4,883件（前年対比 103.0%）
- ・ 案内件数（電話案内） : 1,312件（前年対比 75.4%）
- ・ 試飲コーナー利用者数 : 19,870人

II 観光事業部門（収：観光誘客促進事業、公１）

1 直営施設の管理運営（収）

やまなみ食堂及び蔵王駐車場用地の管理運営を行った。

2 観光施設整備融資事業（公１）

県内市町村の観光団体等を対象とした観光施設整備事業に対する融資事業を行ったが、新規の利用はなかった。

- ・ 融資団体数 : 2団体
- ・ 融資残額 : 801万円

III 県外支部の運営（公１：観光振興事業・公２：物産振興事業）

本県の観光と物産の情報発信基地として、東京、大阪、北海道及び名古屋の各支部の運営を行った。

IV 物産振興部門（公２：物産振興事業）

1 「山形県の観光と物産展」山形単県展の開催

山形県の観光資源や特産品、名産品を紹介宣伝し、誘客活動と県産品の販路拡大を促進することを目的に、実行委員会（鈴木尚彦会長）を設置し、「山形県の観光と物産展」を、下記のとおり新規２会場を含む７会場で実施した。

出展社数の増加や三越伊勢丹日本橋本店での催事スペースの拡大等により、売上実績が大幅に増加した。

○「山形県の観光と物産展」の催事実施数

No	開催場所	開催期日	売上実績	前年度比	目的・イベントなど
1	名鉄百貨店本店	5/29～6/4	約 69 百万円	109%	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取り揃え、お届けし、県産品の紹介宣伝・販路拡大
2	三越伊勢丹日本橋本店	5/29～6/3	約 68 百万円	183%	「おもてなし」を再認識し、本県の厳選された特産品を揃え、さらにクオリティーを高め再構築し、紹介宣伝・販路拡大
3	丸広百貨店川越本店	6/19～24	約 17 百万円	120%	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取り揃え、お届けし、県産品の紹介宣伝・販路拡大・お買上げ抽選会など
4	道の駅やまがた蔵王 〈新規開催〉	7/26～28	約 3 百万円	皆増	県外出店が難しい事業者を中心に、道の駅に訪れる観光客に対して、県産品を揃え、紹介宣伝・販路拡大
5	近鉄百貨店 あべのハルカス本店 〈新規開催〉	10/23～29	約 11 百万円	皆増	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取り揃え、お届けし、県産品の紹介宣伝・販路拡大・特別奉仕品販売など
6	東武百貨店池袋店 （山形・宮城展）	11/2～7	約 48 百万円	165%	宮城県と連携し、本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取り揃え、県産品の紹介宣伝・販路拡大・朝倉さやミニライブ
7	新宿駅西口広場	12/6～11	約 4 百万円	69%	年末商戦に合わせて、本県を代表する消費者ニーズの高い特産品を取り揃え、新宿駅広場において、県産品の紹介宣伝・販路拡大
売上実績合計			約 221 百万円	132%	

2 当協会主催催事の開催及び百貨店等主催催事への出展

全国の百貨店等を会場に地下催事など当協会主催催事を開催するとともに、百貨店等が主催する「東北6県の観光と物産展」等の催事に出席し、県産品のPR、販路拡大に努めた。実施数は若干の減少となったが、京王新宿店での新規開催等により売上実績は増加した。

○「東北6県の観光と物産展」等の催事実施数

エリア	実施数	前年度増減	主 な 会 場
北海道	0カ所	±0	
東 北	0カ所	±0	
関 東	30カ所	±0	丸広川越店・上尾店、東武池袋店、京王新宿店 他
中 部	4カ所	△2	高島屋名古屋店、松坂屋静岡店 他
関 西	3カ所	△1	高島屋京都店、近鉄百貨店 他
中 国	4カ所	±0	そごう西武広島店、福屋八丁堀店 他
四 国	2カ所	+1	いよてつ高島屋
九 州	5カ所	±0	鹿児島山形屋、鶴屋熊本、大分トキハ、博多阪急
計	48カ所	△2	
売 上 実 績 合 計 約201百万円 (前年度比108%)			

3 新規催事場の確保

県産品の紹介宣伝と販路拡大を図るため、関西の百貨店や仙台駅等に「観光と物産展」の企画、提案等を行った。営業活動の結果、令和7年度は、新規会場として「松坂屋静岡店」及び「仙台駅ステンドグラス前」の2会場で開催する予定となっている。

4 移動販売等の実施（催事関係）

令和2年度から県内スーパー等で移動販売を実施しており、引き続き一定の需要があることから、県内・県外のスーパー等において継続して実施した。

さんままつり（霞城公園）やイオン旭川西店などの大口販売の減少により、売上実績は大幅に減少した。

○移動販売（主なもの）等の実施状況

実 施 場 所	実施日数	延出展社数
イオン山形南店	3日	15社
イオン山形北店	4日	6社
イオン天童店	4日	22社
イオン東根店	4日	8社
イオン札幌平岡店	6日	6社
春日井まつり	2日	2社
売 上 実 績 合 計 約9.2百万円 (前年度比73%)		

5 斡旋事業（卸事業）の推進

(株)アイ・エム・シー、東急百貨店、(株)柳生屋フーズ、(株)高島屋ファーム、SAKAeL MARCHE 等を通じて、全国の百貨店やスーパーマーケットで県産品の販売を行うとともに、三越伊勢丹オンラインサイトの物産展「山形展」など百貨店オンラインサイトに開設のWEB物産展へ商品掲載を行い、県産品の販路拡大に努めた。SAKAeL MARCHE との新規取引等により、売上実績が増加した。

斡旋先	業者数	売上実績	前年度比
斡旋業者	22社	23,519千円	130%
百貨店オンラインサイト	3社	8,517千円	78%
計	25社	32,036千円	110%

6 ネット販売事業の実施

当協会が運営する県産品の通販サイト「とっておきの山形」及び「とっておきの山形 Yahoo!ショッピング店」、県からの受託事業「おいしい山形プラザWEB」での商品販売やSNSでの情報発信などを通じて県産品のPRと販売促進を行った。

① 「とっておきの山形」アクセス数、注文件数等

アクセス件数は増加したが、サクランボの品薄や米の高騰等の影響により、注文件数、売上実績とも減少した。

	令和6年度		前年度比
アクセス件数	約68,200件		126%
注文件数	910件		77%
売上実績	5,056千円		73%

(1) 人気商品 県産米、肉加工品、果物、農産加工品

(2) 出展商品数 約600商品

(3) 出展事業者数 約280企業

(4) 購入品の構成 米・フルーツ(26%)、肉・魚・農産加工品(18%)、菓子(13%)
味噌・醤油・漬物(9%)、蕎麦・麺類(14%)、民芸品等(10%)
飲料(5%)、酒・ワイン(5%)

(5) 購入者居住エリア ①山形県(24%) ②東京都(19%) ③神奈川県(6%)
④千葉県(6%) ⑤埼玉県(4%) ⑥その他(41%)

(6) 購入者の年代 ①50代(16%) ②60代(13%) ③30代(12%)
④40代(9%) ⑤70代(5%) ⑥その他(45%)

◇プロモーション企画

会員拡大と消費者の購買意欲を高めるため、さくらんぼ送料無料キャンペーン、2回の送料無料キャンペーン（夏・冬）を実施した。

- ・さくらんぼ送料無料キャンペーン：5/14～29
- ・送料無料キャンペーン：8/15～30、11/29～12/20

- ② 「とっておきの山形 Yahoo!ショッピング店」 アクセス数、注文件数等
 サクランボの品薄や米の高騰等の影響もあり、アクセス件数、注文件数、
 売上実績ともに大幅に減少した。

	令和6年度	前年度比
アクセス件数	約3,800件	69%
注 文 件 数	76件	51%
売 上 実 績	412千円	53%

- (1) 人 気 商 品 菓子、麺類、肉加工品
 (2) 出 展 商 品 数 約75商品
 (3) 購入品の構成 肉・魚・農産加工品(38%)、菓子(33%)
 味噌・醤油・漬物(26%)、米(2%)、工芸品類(1%)

- ③ 「おいしい山形プラザ WEB」 アクセス数、注文件数等
 各種キャンペーンの充実等により、アクセス件数、注文件数、売上実績ともに
 大幅に増加した。

	令和6年度	前年度比
アクセス件数	約104,000件	129%
注 文 件 数	976件	143%
売 上 実 績	4,758千円	170%

- (1) 人 気 商 品 菓子、加工品、漬物、肉製品
 (2) 出 展 商 品 数 約300商品
 (3) 関係事業者数 約120企業
 (4) 購入品の構成 菓子(34%)、加工品(32%)、飲料・ジャム(13%)
 漬物(8%)、肉製品(5%)、米(4%)、水産製品(3%)
 詰合せ・セット(1%)
 (5) 購入者居住エリア ①東京都(30%) ②神奈川県(13%) ③千葉県(9%)
 ④埼玉県(7%) ⑤大阪府(7%) ⑥その他(34%)
 (6) 購入者の年代 ①50代(14%) ②60代(11%) ③40代(10%)
 ④30代(6%) ⑤70代(5%) ⑥その他(54%)

◇プロモーション企画

店舗の認知度向上と消費者の購買意欲を高めるため、4回の送料無料キャンペーン及び5回の割引クーポンプレゼント企画を実施した。

- ・ 送料無料キャンペーン：5/20～6/30、9/13～10/30、11/22～12/20、
1/24～2/28
- ・ 割引クーポンプレゼントキャンペーン：6/1～10/31、7/18～11/30、9/11～12/31、
12/20～2/28、2/14～4/30

7 商談会及び研修会の開催

① 商談会（開催日：令和7年3月17日（月））

「株式会社エムアイフードスタイルとの商談会」

首都圏を中心に高級スーパー・クイーンズ伊勢丹を運営するエムアイフードスタイル担当者と各店への納品につなげるための商談会を開催した。

先方バイヤー 2名

参加企業 37社

② 研修会（開催日：令和7年2月18日（火））

「SNS 運用講習会」

内 容 県内の観光事業者や製造事業者が SNS を効果的に活用することを目的に、SNS 運用講習会を開催した。

講 師 SNS コンサルタント 會田 悠城氏

参加企業 39社（オンライン参加含む）

8 東京アンテナショップイベントコーナーの運営

「おいしい山形プラザ」1階のイベントコーナーの貸出しを行い、県内市町村等が自ら行う催事を支援するとともに、会員企業等による自社商品の直接対面販売を支援した。

・イベントコーナー出店社数 52社（前年度比126%）

9 東北六県物産協会等連絡協議会の開催（幹事県：岩手県）

東北六県物産協会等連絡協議会を開催し、物産展、EC サイト、卸売事業、アンテナショップ運営状況等について、各県の状況などを意見交換した。

・期 日：令和6年10月5日（木）

10 外航クルーズ船の受入れに伴う県産品の情報発信

外航クルーズ船の酒田港寄港（令和6年度寄港：7隻）の際に実施される歓迎行事などに合わせ、観光誘客・物産振興を図ることを目的に、県と連携しながら本県の食や伝統的な工芸品等の情報発信を行った

11 山形おとなりさん事業への支援

山形おとなりさん連絡会※主催の「周遊ドライブスタンプラリー（各地域のゆるキャラを活用）」への支援を通じて、各施設間の連携強化を図った。

※県内の大型観光立寄施設10社が連携協定を締結し、それぞれが有する人的・物的資源を活用して、県全体の観光・物産振興や交流人口拡大を通じ地域経済への貢献を目的とする連絡会

12 物産振興部門の戦略策定

物産振興に係る今後の事業展開について、中期的な視点から戦略を策定するため、物産振興の現状等について基礎的な調査・分析等を行うとともに、専門家の助言等を受け、「デジタルデータ等の活用」、「販売チャンネル等の多様化」、「県産品に対する信頼感の確立」の3本のテーマに集約のうえ、物産振興部門の中期的な戦略『これからの物産振興の推進に係る方向性等について ～デジタル化という社会情勢の変化等を踏まえて～』を令和7年3月に取りまとめた。